

講義名	原価計算論B		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	早川 翔		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	14037

主題と概要

利益は、利益 = 収益 - 原価の式で表せます。この式から、少ない原価で多くの収益を獲得することが、利益増大につながると言えます。したがって、企業にとって原価をいかに引き下げるかは重要であり、そのためには自社の原価構造を知る手段としての原価計算が必要になります。本講義では、日商簿記検定2級における工業簿記（原価計算）の範囲、特に総合原価計算に関する内容を学習します。

到達目標

原価計算、特に個別原価計算に関する基礎的な理論を理解する。また、日商簿記検定2級における工業簿記の基礎学力を身につけることができます。

提出課題

毎回、授業内課題を課します。

評価の基準

毎回の授業内課題の成績（50%）と学期末試験（50%）で評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

- ・本講義を受講する前提として簿記に関する基礎的知識(特に仕訳・転記の方法)が必要です。
- ・原価計算の知識を習得するためには授業内の学習だけでは不十分で、必ず自宅での復習が必要です。
- ・原価計算の内容は積み重ねが重要な学問なので、休むと次回以降の内容がわからなくなります。
- ・授業では計算問題を扱うことがあるため、電卓（スマートフォンやタブレット端末は不可）が必要です。必ず購入して講義に持参してください。
- ・原価計算論Aとセットで受講すると、工業簿記に関する知識が深まります。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

プリント資料
毎回の講義で使用します。
参考文献
谷武幸 2012 『エッセンシャル原価計算』 中央経済社
大原簿記学校編 2006 『完全合格のための日商簿記2級工業簿記テキスト』 大原出版

授業計画

- 第1回 原価計算とは何か
- 第2回 単純総合原価計算1
- 第3回 単純総合原価計算2
- 第4回 減損および仕損
- 第5回 工程別総合原価計算
- 第6回 組別総合原価計算
- 第7回 等級別総合原価計算
- 第8回 前半のまとめ
- 第9回 標準原価計算1
- 第10回 標準原価計算2
- 第11回 標準原価計算3
- 第12回 標準原価計算4
- 第13回 直接原価計算(CVP分析)
- 第14回 直接原価計算(固変分解)
- 第15回 全体のまとめ

予習・復習

予習
講義内でプリントを配布して講義を行うため、特に予習は必要ありません。
復習
授業中の演習問題や授業内課題を自力で解けるように、しっかり復習することを要求します。

備考